

三重県

新エネルギービジョン

MIE PREFECTURE



NEW ENERGY VISION

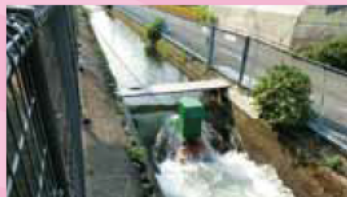
三重県
平成28年5月

松坂木質バイオマス熱利用協同組合



バイオマス熱利用施設

木質チップや生ごみなどを燃やして、熱利用するしくみ。



▲水土里ネット立梅用水(多気町)

スマートキャンパス/エネルギーマネジメントシステム

太陽光発電や蓄電池、空調設備などを制御し、大学全体のエネルギー消費を最適化するしくみ。



▲三重大学スマートキャンパス(津市)

スマートハウス

▼桑名市隔だまりの丘



太陽光発電や蓄電池、家電等を制御し、エネルギー消費を最適化する住宅。

コージェネレーション

▼コージェネレーションシステム(写真提供:ヤンマーエネルギーシステム(株))



ガスエンジンなどから電力と熱を生産・供給するしくみ。

燃料電池

▼エネファーム(写真提供:東邦ガス(株))



水素と酸素の化学反応によって、電気と熱を発生する装置。

次世代自動車

ハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車など。



▲燃料電池自動車 (CLARITY FUEL CELL 写真提供:HONDA)

▲燃料電池自動車 (MIRAI 写真提供:TOYOTA)

▲電気自動車 (e-NV200 写真提供:NISSAN)

▲電気自動車 (コンパクトEV 写真提供:NTN(株))

急速充電器 (写真提供:NISSAN)

移動式水素ステーション

燃料電池自動車に水素を供給する施設。



▲移動式水素ステーション(四日市市、津市) (写真提供:みえ水素ステーション合同会社)



▲(株)青山高原ウィンドファーム(51MW)(津市、伊賀市)

風力発電所

風車の回転運動で発電するしくみ。



▲木曾岬メガソーラー(株)(49MW)(木曾岬町、桑名市)

太陽光発電所

太陽光のエネルギーを利用して発電するしくみ。なお、出力が1メガワット(1MW=1000kW)以上の大規模な太陽光発電所のことをメガソーラーといいます。



▲三重エネウッド(株)(松阪市)

木質バイオマス発電所

間伐材などでつくられた木質チップや、ヤシガラなどを燃やして発電するしくみ。



▲木質チップ



▲新総合ごみ処理施設(写真提供:四日市市)

廃棄物発電施設

生ごみなどの燃焼熱を利用して発電するしくみ。



三重県次世代エネルギーパーク

URL: http://www.pref.mie.lg.jp/ENERGY/HP/enepark/index.htm
太陽光発電、風力発電などのしくみや重要性を啓蒙する施設。



▲中部電力(株)川越電力館テラ46(川越町)



▲三重県環境学習情報センター(四日市市)

県工業研究所

企業の依頼を受けて、評価試験や共同研究を行う施設。(津市)



メタンハイドレート

深海などの低温高圧のもとでメタンガスと水が結合した固体の物質。



▲メタンハイドレート産出試験(志摩半島沖) (写真提供:メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム)



▲燃えるメタンハイドレート(人エメタンハイドレート) (写真提供:メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム)

セルロースナノファイバー(CNF)

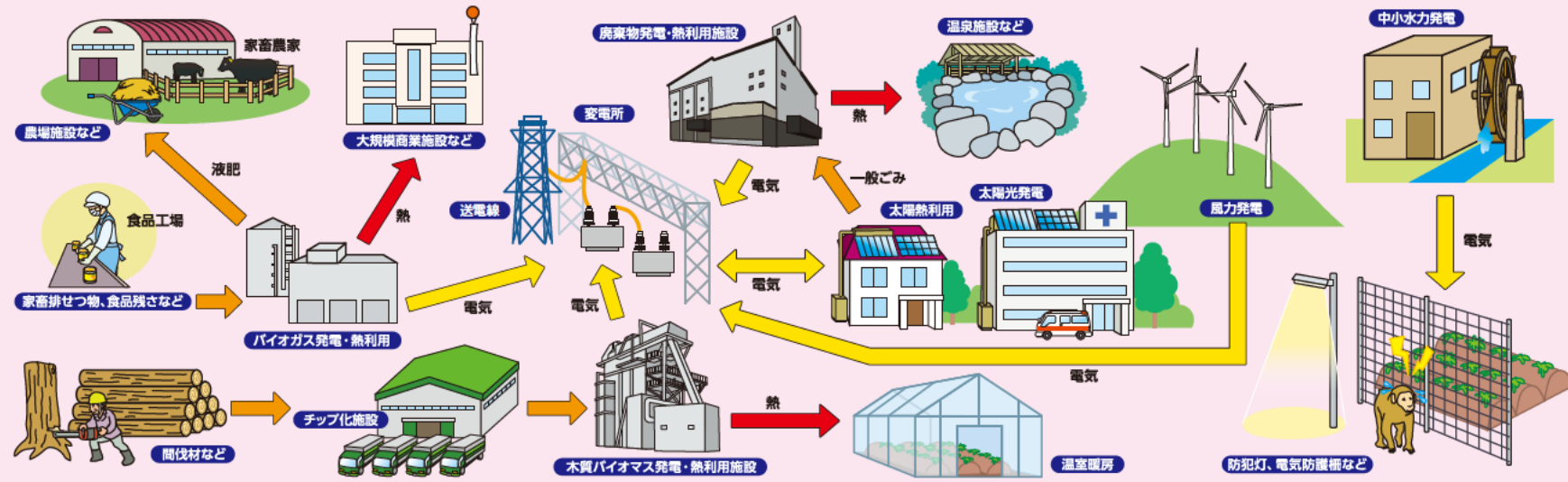
バイオマスを解きほぐした幅数ナノメートル程度の極細繊維状物質。



▲CNF (写真提供:第一工業製薬(株)) ▲CNFインク使用ボールペン

新エネルギーの導入が進んだ社会

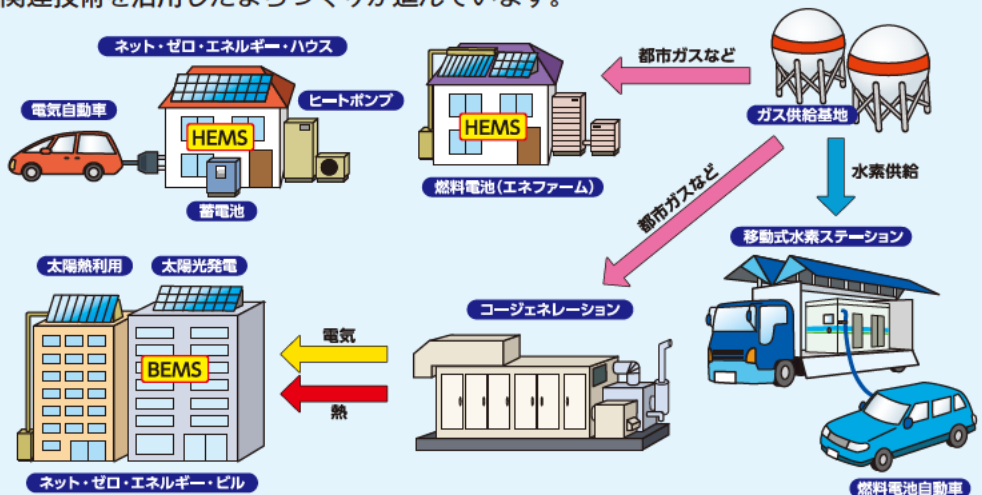
新エネルギーや環境問題に対する意識が高まり、家庭、事業所等において、太陽光、風力、バイオマスなどの新エネルギーの導入が進んでいます。



基本理念 エネルギー・イノベーションと協創によるみえの地域エネルギー力の向上 ~ 三重県がめざす3つの将来像 ~

環境に配慮し効果的なエネルギー利用が進んだ社会

ライフスタイルと事業活動の変革により、エネルギーが効率的に使われ、エネルギー関連技術を活用したまちづくりが進んでいます。



環境・エネルギー関連産業の振興による元気な社会

環境・エネルギー関連産業の研究開発や事業化が進捗し、水素、バイオリファイナリーなどの次世代エネルギーを活用した取組が進んでいます。



半導体: 超低消費電力により、電子機器の省エネに貢献。(写真提供:三重富士通セミコンダクター(株))

蓄電池: 柔軟性がある極めて薄い蓄電池。(写真提供:リチウムイオン電池)

モーター(電動機): 小型、軽量化された高効率のモーター。(写真提供:ハイブリッド自動車のモーター(電動機))

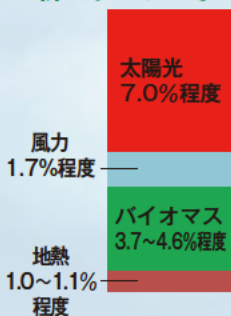
副生水素: 四日市コンビナートで、石油化学製品を製造する際、副生水素が発生し、その一部が移動式水素ステーションで活用されています。(写真提供:第三コンビナート(四日市市))

●「新エネルギー」の導入目標●

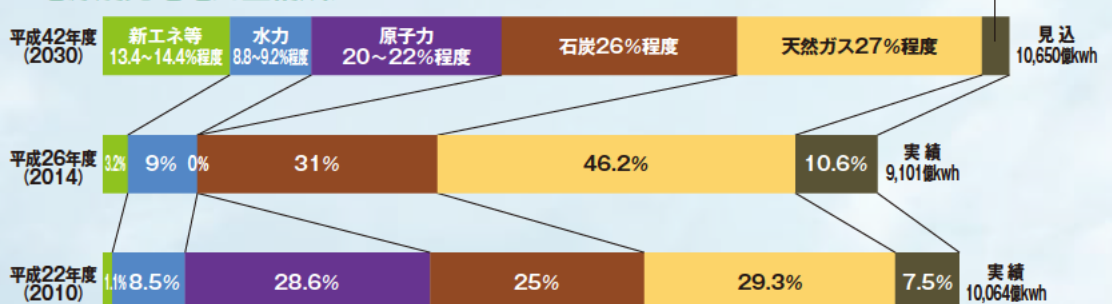
平成42年度までに一般家庭で消費されるエネルギーの84.5万世帯分、
平成31年度までに54.3万世帯分の県内への導入をめざします。

		10種類の「新エネルギー」	現状値 平成27年度(2015) (26年度実績)	中期目標 平成31年度(2019) (30年度実績)	長期目標 平成42年度(2030) (41年度実績)
「新エネルギー」	新エネルギー	①太陽光発電	64.6万kW	103.3万kW	219.3万kW
		②太陽熱利用	0.2万kL	0.3万kL	0.7万kL
		③風力発電	7.3万kW	18.1万kW	28.8万kW
		④バイオマス発電	7.3万kW	12.1万kW	12.8万kW
		⑤バイオマス熱利用	5.5万kL	6.7万kL	10.2万kL
		⑥中小水力発電	0.6万kW	0.6万kW	0.7万kW
	革新的なエネルギー 高度利用技術	⑦コージェネレーション (燃料電池を除く)	44.3万kW	46.6万kW	49.4万kW
		⑧燃料電池	0.2万kW	0.6万kW	4.8万kW
		⑨次世代自動車	9.4万台	15.7万台	34.5万台
		⑩ヒートポンプ	9.8万台	10.9万台	14.3万台
		従来型一次エネルギーの削減量合計 (上段:原油換算 下段:世帯数換算)	70.9万kL 38.4万世帯	100.2万kL 54.3万世帯	155.9万kL 84.5万世帯

●平成42(2030)年度の新エネルギー等の構成



●電源別発電電力量構成比



(出典:電気事業連合会広報資料を基に作成)

三重県雇用経済部エネルギー政策・ICT活用課

三重県津市広明町13番地 TEL 059-224-2316

E-mail energy@pref.mie.jp

URL <http://www.pref.mie.lg.jp/ENERGY/HP/energy/>